





令和5年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	49
1. 事業の概要			
実施計画事業名	良好な土地利用の推進	担当部署名	都市計画課
事業の実施目的及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。		
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の機能保全/産業拠点の充実		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	   		

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)			
単位:千円			
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画GISデータ修正、システム保守</li> <li>景観まちづくり市民懇談会の開催</li> <li>景観計画区域内行為の届出制度の運用</li> <li>協働による景観まちづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画GISデータ修正、システム保守</li> <li>景観まちづくり市民懇談会の開催</li> <li>景観計画区域内行為の届出制度の運用</li> <li>協働による景観まちづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画GISデータ修正、システム保守</li> <li>景観まちづくり市民懇談会の開催</li> <li>景観計画区域内行為の届出制度の運用</li> <li>協働による景観まちづくりの推進</li> </ul>
事業費	4,307千円	3,000千円	3,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画決定・変更に関する経費
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画GIS整備事業
	7-3-1	都市計画総務費	景観形成促進事業





3. 事業実績等		単位:円	
令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画地理情報システム整備</li> <li>都市計画GISシステム保守、運用サポート</li> <li>良好な景観形成の推進</li> <li>景観計画区域内行為の届出制度の運用</li> <li>景観まちづくり市民懇談会の開催</li> </ul>	当初予算	4,307,000円
		予算現額	4,230,000円
		決算額	3,974,003円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値		指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値		3	3	3	3	3
			実績値		1	1	1		
	都市計画基礎調査	%	目標値		100	—	—	—	—
			実績値		100	—	—		
	都市計画基本図の修正	%	目標値		—	—	—	—	—
			実績値		—	—	—		
			目標値						
			実績値						
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値		50	50	50	50	50
			実績値		86	77	69		
	市街化区域人口	人	目標値		82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値		85,115	86,613	86,743		
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	良好な土地利用の推進に向け、今後も継続して事業を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	50
1. 事業の概要				
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援	担当部署名	都市整備課	
事業の実施目的及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行っていきます。			
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理法 都市計画法	
取組方針	開発検討拠点の事業促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)			
単位:千円			
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・土地区画整理事業の実施に対する支援	・土地区画整理事業の実施に対する支援	・土地区画整理事業の実施に対する支援
事業費	50,742千円	未定	未定

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-5	区画整理事業費	印旛中央地区に要する経費

3. 事業実績等			
単位:円			
令和5年度の事業実績・成果	・土地区画整理組合設立の支援として、「印旛中央土地区画整理組合設立支援補助金交付要綱」に基づき、印旛中央土地区画整理事業発起人会(以下、「発起人会」という。)に対し、補助金の交付を行った。  ・組合設立の認可取得に向け、事業計画(案)を策定中である発起人会对する支援として、千葉県などの関係機関協議のほか、発起人会の会議開催及び、協議を4回実施し、助言等を行った。	当初予算	50,742,000円
		予算現額	50,742,000円
		決算額	10,007,798円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値									
	指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	2	2	
			実績値	1	0	0			
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5	6	—	—	
			実績値	9	8	1			
				目標値					
				実績値					
成果指標	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足	—	—	—	—	
			実績値	発足	—	—	—	—	
	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	—	—	発足	—	—	
			実績値	—	—	—			
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	—	—	5	10	15	
			実績値	—	—	—	—	—	
			目標値						
			実績値						





5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	発起人会において、事業計画(案)を策定中のため、地権者説明会の開催には至らなかった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	発起人会からの新たな事業スキーム提案に対する検討に時間を要し、目標値を下回る結果となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	土地区画整理組合の発足に向け、事業計画(案)を策定すべく、発起人会对し支援を行なった。

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	上位計画である印西市総合計画や、印西市都市マスタープランに基づき、引き続き組合施行での土地区画整理事業による産業・業務機能と居住環境が集積・調和した土地利用を誘導していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号	51
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	地籍調査の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。			
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画	
取組方針	土地保全の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<p>■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施</p>	<p>■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施</p>	<p>■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施</p>
事業費	82,538千円	85,000千円	80,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	地籍調査事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	当初予定していた第3工区、第4工区、第5工区、第6工区の測量作業等について、概ね計画どおり実施することができた。なお、第3工区については、3年目作業が終了したことで、完了工区となった。	当初予算	82,538,000円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3工区(3年目) 地籍図の作成、面積測定、権利者による閲覧等を実施</li> <li>・第4工区(2年目)、第5工区(2年目) 復元測量、現地調査等を実施</li> <li>・第6工区(1年目) 調査図素図作成、地籍調査票作成、事前現地調査、現況測量等を実施</li> </ul>	予算現額	78,456,000円
		決算額	78,406,253円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	8	3		
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894	838	1,891		
				目標値				
				実績値				
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7	99.7	98.4		
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	4	5
			実績値	1	2	3		
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価



評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	説明会(1年目作業)の開催回数は計画どおり実施、また、調査の筆数は新規着手工区が2工区あったため、目標値を上回ることとなった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	完了工区数は当初計画どおり累計3工区となったが、同意率が100%に至らなかったことが今後の課題である。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和5年度は、第3工区の県認証依頼まで行うことができ、計画どおり事業を進めることができた。また、令和6年度は引き続き第4、第5、第6工区の作業を進めるとともに、第7、第8工区を新規着手工区として作業を開始し、事業進捗を図ることとする。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地籍調査事業計画に基づき、計画的に地籍調査を実施することは、災害復旧の迅速化や公共事業の円滑化等につながることから、継続的に事業を進めていく必要がある。一方、長期的な事業となることから、今後、経済性等の課題がある。



令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	52
1. 事業の概要				
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進	担当部署名	建築指導課	
事業の実施目的及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律 印西市耐震改修促進計画	
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件)</li> <li>危険ブロック塀等除却費補助金20件</li> <li>耐震相談会の開催3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件)</li> <li>危険ブロック塀等除却費補助金20件</li> <li>耐震相談会の開催3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件)</li> <li>危険ブロック塀等除却費補助金20件</li> <li>耐震相談会の開催3回</li> </ul>
事業費	2,481千円	2,481千円	2,481千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	住宅・建築物耐震改修促進事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断1件)</li> <li>危険ブロック塀等除却費補助金 3件</li> <li>耐震相談会の開催 3回</li> </ul>	当初予算	2,481,000円
		予算現額	399,000円
		決算額	399,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	2	1		
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4	7	3		
			目標値					
			実績値					



5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	補助事業や相談会の周知を広報、市ホームページ、町内会回覧にて行うと共に、相談会を計画的に実施できた。
②成果に対する評価	D 目標値を下回る	千葉県からは、補助金額が周辺市町村に比べ低く、必要な改修工事にかかる費用と効果から、申請件数が目標に達することのできない要因ととらえられている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	補助事業等の広報、相談会については、ほぼ目標のとおり周知を図ることができたが、補助申請件数が目標を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金については、対象とする建築物等を絞り込み、対象事業にかかる補助額の上限の見直しを行い、耐震化の促進を図る。また、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	53
1. 事業の概要				
実施計画事業名	空家等対策の推進		担当部署名	建築指導課
事業の実施目的及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画	
取組方針	空家等対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催3回</li> <li>空き家リフォーム工事補助金10件</li> <li>空き家バンク成約補助金10件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催3回</li> <li>空き家リフォーム工事補助金10件</li> <li>空き家バンク成約補助金10件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催3回</li> <li>空き家リフォーム工事補助金10件</li> <li>空き家バンク成約補助金10件</li> </ul>
事業費	6,478千円	4,608千円	4,608千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催 2回</li> <li>空き家リフォーム工事補助金 1件</li> </ul>	当初予算	6,478,000円
		予算現額	2,137,000円
		決算額	1,910,280円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
				目標値				
				実績値				
成果指標	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0	2	1		
	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1	0	0		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	空き家の適切な管理に関して、広報、市ホームページの他、市民課等窓口モニターや、市内ショッピングモール内のデジタルサイネージにて周知した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金は、広報、市ホームページの他、市内の不動産仲介業者に通知して周知を図り、空き家バンクは、広報、ホームページの他、空き家の所有者に案内を郵送して周知を図り、体制を整えたが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。



6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報、ホームページ及び関係者に通知して周知をする。また、他自治体の取り組みなどを研究し、効果的な事業実施を図りたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号	54
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進	担当部署名	都市整備課
事業の実施目的及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるような適切な維持管理に努めます。 遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。 また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。		
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画
取組方針	公園の適切な維持管理の推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	 		

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具等の定期点検</li> <li>公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、高花公園等)</li> <li>松山下公園陸上競技場屋外観覧場保全改修工事</li> <li>松山下公園野球場照明改修工事</li> <li>松山下公園野球場保全改修実施設計</li> <li>松山下公園園路等改修工事</li> <li>松山下公園総合体育館天井改修工事</li> <li>松山下公園総合体育館外壁等修繕実施設計</li> <li>テニスコート夜間照明改修実施設計(本笠スポーツプラザ)</li> <li>指定管理者制度の導入・活用の検討</li> <li>公園美化活動への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具等の定期点検</li> <li>公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、萩原公園等)</li> <li>松山下公園総合体育館外壁等修繕工事</li> <li>松山下公園野球場保全改修工事</li> <li>松山下公園園路等改修工事</li> <li>松山下公園総合体育館天井改修工事</li> <li>テニスコート夜間照明改修工事(本笠スポーツプラザ)</li> <li>テニスコート夜間照明改修実施設計(印旛中央公園・印旛西部公園)</li> <li>指定管理者制度の導入・活用・公園美化活動への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具、建築物等の定期点検</li> <li>公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、印旛西部公園、木刈東児童公園等)</li> <li>松山下公園総合体育館外壁等修繕工事</li> <li>松山下公園野球場保全改修工事</li> <li>テニスコート夜間照明改修工事(印旛中央公園・印旛西部公園)</li> <li>指定管理者制度の導入</li> <li>公園美化活動への支援</li> </ul>
事業費	1,074,705千円	1,000,000千円	1,000,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-3	公園費	公園緑地維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・116公園、2緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を11件実施した。その他、園路灯などの修繕を149件、野球場グラウンド等の工事を24件実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、課題などの整理を行った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要となる清掃用具等を提供した。	当初予算	1,074,705,000円
		予算現額	1,037,409,000円
		決算額	745,059,641円
		翌年度繰越額	70,803,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25	25	25		
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30	31	31		
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7	5	11		
		目標値						
		実績値						
成果指標	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	70	92		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価



評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和6年度も適切な公園施設の管理を推進する。



令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	55
実施計画事業名	道路網の整備	担当部署名	道路建設課	
事業の実施目的及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン	
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実			
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市道00-122号線整備事業</li> <li>・道路改良工事</li> <li>○市道竜腹寺線整備事業</li> <li>○市道00-107号線整備事業</li> <li>・用地取得、補償・文化財調査</li> <li>○市道18-045号線整備事業</li> <li>・整備工事</li> <li>○通学路交通安全対策事業</li> <li>・市道25-054号線用地取得、補償</li> <li>・市道25-083号線道路予備設計</li> <li>○市道00-031号線整備事業</li> <li>・用地取得、補償</li> <li>○市道00-008号線整備事業</li> <li>・道路改良工事・用地取得、補償</li> <li>○その他市道整備事業</li> <li>○北千葉道路建設促進</li> <li>・国等に対して要望実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市道00-122号線整備事業</li> <li>・道路改良工事</li> <li>○市道竜腹寺線整備事業</li> <li>・橋梁詳細設計</li> <li>○市道00-107号線整備事業</li> <li>・用地取得、補償・文化財調査</li> <li>・流末排水整備工事</li> <li>○通学路交通安全対策事業</li> <li>・市道25-054号線道路改良工事</li> <li>・市道25-083号線路線測量</li> <li>○市道00-031号線整備事業</li> <li>・排水整備工事</li> <li>○市道00-008号線整備事業</li> <li>・道路改良工事・用地取得、補償</li> <li>○その他市道整備事業</li> <li>○北千葉道路建設促進</li> <li>・国等に対して要望実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市道00-122号線整備事業</li> <li>・道路改良工事</li> <li>○市道竜腹寺線整備事業</li> <li>・橋梁詳細設計</li> <li>○市道00-107号線整備事業</li> <li>・用地取得、補償・文化財調査</li> <li>・道路改良工事</li> <li>○通学路交通安全対策事業</li> <li>・市道25-054号線道路改良工事</li> <li>・市道25-083号線道路詳細設計</li> <li>○市道00-031号線整備事業</li> <li>・排水整備工事</li> <li>○市道00-008号線整備事業</li> <li>・道路改良工事</li> <li>○その他市道整備事業</li> <li>○北千葉道路建設促進</li> <li>・国等に対して要望実施</li> </ul>
事業費	854,922千円	854,000千円	967,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-1-3	道路新設改良費	道路新設改良事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道18-045号線(小林駅南口駅前広場等)整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-3-2	街路事業費	都市計画道路新設改良事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	○市道00-122号線整備事業・道路改良工事	当初予算	854,922,000円
	○市道竜腹寺線整備事業	予算現額	791,713,000円
	○市道00-107号線整備事業・用地取得、補償・文化財調査	決算額	571,475,351円
	○市道18-045号線整備事業・整備工事	翌年度繰越額	52,679,000円
	○通学路交通安全対策事業・市道25-054号線用地取得、補償		
	○市道00-031号線整備事業・用地取得、補償		
	○市道00-008号線整備事業・道路改良工事・用地取得、補償		
	○その他市道整備事業		
	○北千葉道路建設促進・国等に対して要望実施		

4. 指標及び実績値


指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	-
			実績値	250	400	580		
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	-	725	725
			実績値	-	-	-		
通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	-	-	-	145	145	
		実績値	-	-	-			
市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	330	-	-	
		実績値	-	-	291			
北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2			
成果指標	市道00-026号線延伸区間道路整備事業進捗率	%	目標値	80	100	-	-	-
			実績値	70	95	100		
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	-
			実績値	45	50	60		
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20	20	20		
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10	20	30		
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20	40	55		
市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75	
		実績値	45	50	50			
市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	-	-	
		実績値	20	30	88			

5. 事業に対する評価

評価項目	評価	コメント
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引続き、各事業の完了に向け取り組む。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	56
1. 事業の概要				
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進		担当部署名	土木管理課
事業の実施目的及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道及び市管理道路等の維持管理</li> <li>道路パトロールの実施</li> <li>舗装修繕の実施</li> <li>街路樹等の維持管理</li> <li>ふれあいロード美化活動への支援</li> <li>橋梁定期点検の実施</li> <li>橋梁補修の実施</li> <li>側溝整備の実施</li> <li>側溝等の清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道及び市管理道路等の維持管理</li> <li>道路パトロールの実施</li> <li>舗装修繕の実施</li> <li>街路樹等の維持管理</li> <li>ふれあいロード美化活動への支援</li> <li>橋梁定期点検の実施</li> <li>橋梁補修の実施</li> <li>側溝整備の実施</li> <li>側溝等の清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道及び市管理道路等の維持管理</li> <li>道路パトロールの実施</li> <li>舗装修繕の実施</li> <li>街路樹等の維持管理</li> <li>ふれあいロード美化活動への支援</li> <li>橋梁定期点検の実施</li> <li>橋梁補修の実施</li> <li>側溝整備の実施</li> <li>側溝等の清掃</li> </ul>
事業費	1,002,655千円	865,054千円	966,735千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-1-2	道路維持費	道路維持修繕に要する費用
	7-1-4	橋りょう維持費	橋りょう維持修繕に要する経費

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路パトロール 週5日、243日/年</li> <li>ふれあいロード美化活動への支援 17団体に花苗支給等</li> <li>街路樹等の維持管理 10地区に分割し除草及び樹木剪定等を実施</li> <li>舗装修繕工事 L=4, 087m</li> <li>橋梁定期点検 N=64橋</li> <li>橋梁補修工事 N=4橋</li> <li>側溝整備工事 L=35m</li> <li>側溝等の清掃 L=3, 550m</li> </ul>	当初予算	1,002,655,000円
		予算現額	1,142,649,000円
		決算額	991,928,700円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243		
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72	45	64		
				目標値				
				実績値				
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	2,093	2,759
			実績値	3,974	4,957	4,087		
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	—	1	3	7	8
			実績値	1	2	4		
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価




評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。



令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	57
1. 事業の概要				
実施計画事業名	水道の安定供給		担当部署名	水道課
事業の実施目的及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 印西市水道ビジョン 印西市水道事業経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水整備工事 岩戸・吉田地先 大森地先</li> <li>管洗浄及び漏水調査業務 小林地区</li> <li>経営戦略に基づく整備・更新 平岡配水場3号ポンプ機械電装 設備更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水整備工事 吉田地先 大森地先</li> <li>管洗浄及び漏水調査業務 小林地区</li> <li>経営戦略に基づく整備・更新 配水場及び末端監視局の設備更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水整備工事 吉田地先 大森地先</li> <li>管洗浄及び漏水調査業務 小林地区</li> <li>経営戦略に基づく整備・更新 配水場及び末端監視局の設備更新</li> </ul>
事業費	545,423千円	550,000千円	550,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-2	配水及び給水費	
	【水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	建設工事費	
	1-1-3	建設事務費	

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	吉田地区配水整備 L=27.6m 大森地区配水整備 L=852.6m 平岡配水場ポンプ機械電装設備更新工事 一式 印西地区配水管洗浄業務委託(漏水調査) L=4.5km	当初予算	545,423,000円
		予算現額	622,384,500円
		決算額	384,237,433円
		翌年度 繰越額	152,353,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761	777	28		
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1	4.5	4.5		
				目標値				
				実績値				
成果指標	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38	73.72	74.40		
	水道の普及率 (千葉県・印西市・長門川水道 企業団など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70	87.80	88.30		
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10	21	21		
			目標値					
			実績値					




5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	吉田地区の工事を繰り越しているが、令和6年度には、工程通りとなるよう努力していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	普及率と同様に吉田地区の整備率も目標値を上回るよう、努力していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	吉田地区の工事を繰り越してはいるものの、概ね目標通りであるため、引き続き上回るよう努力していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を行い給水区域内の未普及地域の解消を図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	58
1. 事業の概要				
実施計画事業名	計画的な下水道の整備	担当部署名	下水道課	
事業の実施目的及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道(雨水)の整備・充実に努め、浸水防除に努めます。 さらに、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、下水道施設全体を一体的に捉え、ストックマネジメント計画や総合地震対策計画等に基づく対策を進めていきます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区実施設計業務委託 ・公共下水道全体計画変更業務委託  公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事  公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事  雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水詳細設計業務委託	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 ・公共下水道事業計画変更業務委託  公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事 ・修繕改築計画業務委託  公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事  雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事  公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設詳細設計業務委託  公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策詳細設計業務委託 ・マンホールトイレ整備工事  雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事
事業費	521,372千円	500,000千円	480,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【下水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-4	総係費	
	【下水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	汚水管路建設改良費	
	1-1-2	雨水管路建設改良費	
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	
	1-1-5	建設事務費	

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	【老朽化対策】 マンホール蓋改修工事 35箇所 管更生工事 47m	当初予算	521,372,000円
	【地震対策】 管更生工事 334m マンホール浮上防止対策工事 39箇所 マンホール管口可とう化工事 90箇所 マンホールトイレ整備工事 10基	予算現額	526,872,000円
	【計画策定】 公共下水道全体計画変更業務委託	決算額	405,912,062円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3	
			実績値	3	5	6			
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	—	2	3	2	
			実績値	2	2	1			
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
			実績値	1.0	0.6	0.0			
中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	—	1	1		
		実績値	1	1	—				
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	150			
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	—	100	100	100	
			実績値	100	200	50			
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63	
			実績値	62	63	63			
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						



5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策工事を優先的に進めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策工事を優先的に進めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	岩戸地区の未復旧対策(汚水)については目標を下回ったが、下水道事業の社会動向等を考慮し、老朽化対策、地震対策の工事を優先的に進めた結果であり、工事実施数は目標を上回る状況となっている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・老朽化する施設への対策や災害等に備えるため、老朽化対策事業、地震対策事業を進めていく。 ・未普及対策(汚水)については、市街化区域の整備は概成しており、市街化調整区域で浄化槽による汚水処理が進んでいる下水道事業計画区域は、地域のニーズや汚水処理の状況を勘案しつつ、適切な時期に整備を行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	59
1. 事業の概要				
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスの運行(6ルート)</li> <li>路線バスへの補助(4ルート)</li> <li>印西市地域公共交通計画に基づく事業改善</li> <li>印西市地域公共交通計画の進捗管理</li> <li>ふれあいバス運行ダイヤ改正</li> <li>ふれあいバス新ルートの再編検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスの運行(6ルート)</li> <li>路線バスへの補助(4ルート)</li> <li>印西市地域公共交通計画に基づく事業改善</li> <li>印西市地域公共交通計画の進捗管理</li> <li>ふれあいバス新ルートの再編検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいバスの運行(6ルート)</li> <li>路線バスへの補助(4ルート)</li> <li>印西市地域公共交通計画に基づく事業改善</li> <li>印西市地域公共交通計画の進捗管理、見直し</li> <li>ふれあいバス新ルートの再編</li> </ul>
事業費	217,989千円	217,989千円	217,989千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業
	2-1-6	企画費	路線バス運行対策事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・燃料価格の高騰対策として、公共交通事業者に対し支援金を交付した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線)への路線バス運行経費の一部を対象に補助金交付した。 ・ふれあいバス(6ルート)のうち、4ルートについて、遅延緩和の解消に向けたダイヤ改正(R6.4.1~)を行い、南ルートにバス停を新設した(大塚三丁目入り口)。 ・ふれあいバス運行ルート再編に向け、ルート再編(案)を策定した。 ・スワン号の実証運行を10月31日を以て終了し、地域公共交通助成実証実験として、新たにタクシー利用助成制度を導入した。 ・バス停付近(木刈フレンドリープラザ前)にベンチを1カ所(1基)設置した。	当初予算	217,989,000円
		予算現額	221,272,000円
		決算額	186,117,988円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	3	1	1			
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6	
			実績値	6	6	6			
			目標値						
			実績値						
成果指標	外出時の自家用車利用率	%	目標値	75	75	75	70	70	
			実績値	75	75	75			
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000	
			実績値	237,528	261,596	276,498			
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200	
			実績値	207,082	216,847	216,906			
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						

5. 事業に対する評価



評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	・スワン号の実証運行を令和5年10月31日を以て終了し本埜地区を対象としたタクシー利用助成事業の実証実験を開始した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	・ふれあいバス(東・中・西・南ルート)について、遅延対策としてダイヤ改正(令和6年4月1日から)を決定した。 ・路線バスについて、利便性向上に向けた、時刻改正を実施した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	・交通空白地域及び定時運行について、一定の効果があつたものと捉えている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	ふれあいバス(東・中・西・南ルート)について、遅延対策としてダイヤ改正(令和6年4月1日)を実施する。令和7年度のふれあいバスルート再編に向け検討と併せ、交通空白地域における、高齢者等の移動支援をはじめとする、路線バスとの運賃格差、定時運行の確保、運行に要する時間や距離による速達性の向上など、これら課題解消に向け、ふれあいバスの運行ルート再編時において、印西市地域公共交通会議をはじめ、運行事業者や関係機関と協議(新規ルート、再編、増便等)を進めいく。



令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおり、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおり、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	[JR成田線] ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対する要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等  [北総線] ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	[JR成田線] ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対する要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等  [北総線] ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	[JR成田線] ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対する要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等  [北総線] ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。
事業費	2,475千円	2,475千円	2,475千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	鉄道整備等促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・成田線活性化推進協議会において、令和5年7月11日にJR東日本首都圏本部、令和5年7月26日に千葉支社に対し、首長等による成田線の要望活動を行った。また沿線活性化事業として、令和5年10月7日～9日に小林駅から木下駅をコースとした「駅からハイキング」を実施し385人が参加した。また、令和5年10月21日・22日に布佐駅にB.B.BASEを誘致し222人のサイクリストが参加した。令和5年12月1日に安食駅において成田線沿線地域クリーンアップ大作戦2023を実施し41人が参加した。 ほかそう春まつりが5年振りに復活し令和5年4月30日に開催。延べ23,000人が参加した。市ではダーツゲーム「ダーツでゲッツ」を実施し、延べ500人が参加した。 ・北総線沿線地域の魅力発信のため、北総線沿線地域活性化協議会による沿線活性化トレインの運行を令和5年11月17日～令和6年3月31日まで運行、うち3両において印西市のポスターを掲示しPRした。	当初予算	2,475,000円
	予算現額	4,125,000円	
	決算額	3,874,078円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	1
			実績値	3	2	3		
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,872	1,094	1,322		
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	2	8	21		
ほかそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	21,000	22,000	23,000	
		実績値	—	20,000	23,000			
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,200	4,250
			実績値	3,406	3,636	3,688		
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,050
			実績値	3,066	3,190	3,142		
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286	26,042	27,525		
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412	14,526	15,974		
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864	5,734	6,629		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	・JR成田線及び北総線関連のイベント等の実績による。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	


6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・成田線については、ダイヤ改正による増発増便や接続改善、駅施設設備の改善に向け、要望活動を実施するとともに、JRや成田線活性化推進協議会の沿線自治体と連携し、沿線地域の活性化向上に努めていく。 ・北総線については、鉄道事業者や北総線沿線地域活性化協議会の沿線自治体と連携し、将来的な普通運賃の更なる値下げと沿線地域の活性化向上に引き続き努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号	61
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進	担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。		
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例 及び同条例施行規則
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・駅頭での啓発活動 ・啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施
事業費	4,790千円	4,790千円	4,790千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	4-2-1	清掃総務費	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業
	4-2-1	清掃総務費	クリーン印西推進運動事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	【クリーン印西推進運動・ゴミゼロ運動】 町内会・事業所等443団体に参加の呼びかけを行い、以下の通り参加があり、地域美化の意識向上を図った。 ・クリーン印西推進運動 161団体・延べ22,868人 ・ゴミゼロ運動 151団体・9,139人	当初予算	4,790,000円
	【歩行喫煙、ポイ捨て等防止】 指導職員(再任用職員)によるパトロールを173日実施、市内全域において、111件の口頭指導を行った。(過料案件は無し) 条例の啓発として、4月、12月および3月に、千葉ニュータウン中央駅改札内へ啓発物資を設置した。また、キャンペーン活動を、印西牧の原駅、印旛日本医大駅、木下駅および小林駅改札前で行った。 ・歩行喫煙及びポイ捨て防止の啓発活動 51回	予算現額	4,391,000円
		決算額	3,876,453円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数 (歩行喫煙・ポイ捨て)	目標値	192	192	192	192	192
		実績値	225	182	173		
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防止の啓発活動(車両広報・駅頭啓発)	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	73	43	51		
	クリーン印西推進運動等の啓発活動(広報紙・HP・自治会長説明会等)	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	7	7	7		
目標値							
実績値							
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導件数(年)	目標値	70	65	60	55	50
		実績値	79	112	111		
	クリーン印西推進運動参加団体数	目標値	155	157	159	161	163
		実績値	150	146	161		
	ゴミゼロ運動参加団体数	目標値	190	191	192	193	194
		実績値	中止	135	151		
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	クリーン印西推進運動について、参加団体が令和4年度に比べて15団体増加しているが、参加人数は1,184人減少となった。歩行喫煙、ポイ捨て等防止については、違反指導件数が令和4年度に比べて、1件減少とほぼ横ばいだった。引き続き、啓発活動を実施し周知に努めていく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	クリーン印西推進運動事業、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業ともに計画に沿った活動を行ったが実績値が得られなかった。今後も団体への啓発活動、喫煙者等への周知徹底を図っていく。


6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	クリーン印西推進運動に関しては、一部の地域・団体では定着しているものの、ゴミゼロ運動のように市の主導でなければ実施に踏み切れない団体も多いことから、町内会・自治会長、クリーンパートナー等の説明会時において周知に努め、クリーン印西推進運動の新規参加団体数をさらに増加させていく。また、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業については、日々違反指導しているが令和4年度と実績がほぼ変わらなかったことから、早朝・夜間での違反行為に対し、幅広い時間帯での指導・啓発活動や看板等表示物の内容、設置場所の見直し等により、引き続きマナーの向上を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号	62
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
取組方針	不法投棄防止対策の強化			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄監視カメラの運用</li> <li>委託業者、市職員による監視パトロール</li> <li>自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄監視カメラの運用</li> <li>委託業者、市職員による監視パトロール</li> <li>自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄監視カメラの運用</li> <li>委託業者、市職員による監視パトロール</li> <li>自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去</li> </ul>
事業費	6,708千円	6,708千円	6,708千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-2-1	清掃総務費	不法投棄対策に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果 ・監視カメラの運用(85台) (うち機動性の高い小型監視カメラを令和5年度に5台更新) ・職員による不法投棄防止夜間パトロールの実施(7回) ・不法投棄等監視パトロール業務委託(100回)	当初予算	6,708,000円
	予算現額	5,483,000円
	決算額	4,706,685円
	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	195	237	248		
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103	100	100		
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85	
		実績値	85	85	85			
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	135	130
			実績値	112	92	78		
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41	46	30		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価


評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	定期的なパトロールおよび監視カメラ等による監視体制を維持するとともに、不法投棄の発生状況や傾向を考慮し、各種見直しを行うこと等により、不法投棄されにくい環境づくりを継続的に進め、更なる不法投棄の抑止に努める。



令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	63
1. 事業の概要				
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。 ・竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供を実施します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例及び同条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)				単位:千円
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<浦部地区> 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 <小林地区> 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 <竹袋焼却場跡地> モニタリング環境調査の実施 <放射線> 大気中放射線量等のモニタリング調査	<浦部地区> 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 <小林地区> 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 <竹袋焼却場跡地> モニタリング環境調査の実施 <放射線> 大気中放射線量等のモニタリング調査	<浦部地区> 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 <小林地区> 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 <竹袋焼却場跡地> モニタリング環境調査の実施 <放射線> 大気中放射線量等のモニタリング調査	
事業費	18,031千円	18,031千円	18,031千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費


3. 事業実績等		単位:円	
令和5年度の事業実績・成果	・浦部地区の汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化はすこしずつではあるが成果が出ている。 ・小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。 ・竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。 ・大気中放射線量等のモニタリング調査では、基準値の範囲内での結果が報告されている。 ・市内公共施設等大気中放射線量測定件数 193箇所を実施。	当初予算	18,031,000円
		予算現額	18,031,000円
		決算額	16,941,265円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値									
	指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	130	130	130	
			実績値	144	144	144	—	—	
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	30	30	30	30	30	
			実績値	30	27	27	—	—	
	浦部地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	18	18	18	
			実績値	—	—	18			
小林地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	10	10	10		
		実績値	—	—	9				
竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14		
		実績値	14	14	14				
成果指標	地下水汚染除去地点(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	2	2	2			
	地下水汚染基準値内地点割合(浦部地区)	%	目標値	—	—	100	100	100	
			実績値	—	—	89			
				目標値					
				実績値					
			目標値						
			実績値						

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浦部地区の調査地点18カ所のうち2カ所から基準値を超えた数値の汚染物質が検出されているので引き続き浄化及びモニタリングを実施していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性	
今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討して行く必要がある。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	64
1. 事業の概要				
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、状況に応じた対策を実施し、被害の低減を図っていきます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 印西市鳥獣被害防止計画	
取組方針	鳥獣被害対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等</li> <li>・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施</li> <li>・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保</li> <li>・ムクドリによる生活環境被害の減少</li> <li>・コブハクチョウによる農作物被害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等</li> <li>・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施</li> <li>・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保</li> <li>・ムクドリによる生活環境被害の減少</li> <li>・コブハクチョウによる農作物被害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等</li> <li>・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施</li> <li>・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保</li> <li>・ムクドリによる生活環境被害の減少</li> <li>・コブハクチョウによる農作物被害防止</li> </ul>
事業費	35,169千円	35,169千円	35,169千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-6	環境保全費	鳥獣被害対策事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・有害鳥獣の捕獲については、業務委託等によりイノシシ1,122頭、アライグマ78匹、ハクビシン78匹、タヌキ149匹、カラス類44羽、その他鳥類9羽を捕獲駆除した。防護柵については約8,900メートル自力施工で設置した。生息環境管理については、8団体が耕作放棄地等の草刈りを行った。	当初予算	35,169,000円
	・地域ぐるみの鳥獣被害対策として、岩戸地区のイノシシ捕獲の支援のほかイノシシ被害が多い地区に対策方法等の説明会等を行った。	予算現額	38,684,000円
	・狩猟免許取得に係る助成金について12名に助成し、捕獲従事者を確保した。	決算額	34,678,653円
	・ムクドリによる生活環境被害の減少対策として、7月から9月に千葉ニュータウン駅周辺の街路樹に集まるムクドリを器具を使用し被害が少なくなるよう追い払いを実施した。	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績値	30,500	20,600	8,900		
	捕獲従事者数(有資格者)	目標値	80	85	90	95	100
		実績値	65	65	75		
		目標値					
		実績値					
成果指標	イノシシ捕獲頭数	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
		実績値	733	1,064	1,122		
	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	目標値	400	500	500	500	500
		実績値	320	343	305		
		目標値					
		実績値					
	目標値						
	実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	電気柵の設置要望箇所が、小規模な農地であったため、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	小型獣の捕獲については、数年前から捕獲数はほぼ変わらず、成果指標の目標値を達成することが難しいことから業務の見直しが課題となっている。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	65
1. 事業の概要				
実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実	担当部署名	環境保全課	
事業の実施目的及び概要	豊かな自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 印西市環境基本計画	
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画) 単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いんざい自然探訪の実施</li> <li>環境白書の作成(計画の進行管理)</li> <li>草深の森の充実</li> <li>武西の里山保全と調査</li> <li>別所・大森の森(ホテル等)保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いんざい自然探訪の実施</li> <li>環境白書の作成(計画の進行管理)</li> <li>草深の森の充実</li> <li>武西の里山保全と調査</li> <li>別所・大森の森(ホテル等)保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いんざい自然探訪の実施</li> <li>環境白書の作成(計画の進行管理)</li> <li>草深の森の充実</li> <li>武西の里山保全と調査</li> <li>別所・大森の森(ホテル等)保全</li> </ul>
事業費	19,187千円	20,500千円	21,500千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
		4-1-6	環境保全費
	4-1-6	環境保全費	自然環境保全事業

3. 事業実績等 単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・環境白書の作成(計画の進行管理) ・いんざい自然探訪6事業のうち6事業実施 (①ホテルの鑑賞会 ②印旛沼観光船 ③ザリガニ釣り体験 ④里山学校夏編 ⑤里山学校秋編 ⑥里山学校春編)	当初予算	19,187,000円
	・武西の里山の生物調査17回、保全活動(団体委託4回、市3回)、モニタリング4回 ・武西の里山法面草刈業務(2回)	予算現額	61,015,000円
	・草深の森施設管理業務(鍵の開閉、清掃、ごみ拾い、トイレ掃除、巡回監視) ・草深の森保全業務5回 ・草深の森ガイドリーフレット作成業務委託 ・草深の森スギ・ヒノキ間伐・山ゆり保全業務(6回) ・草深の森危険木・朽木伐採業務(2回) ・草深の森トイレ新築工事 ・大森・別所の森保全業務(業務委託2回、市4回) ・大森・別所の森ホテル監視業務(20日間)	決算額	58,122,148円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7		
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5	5	6		
いんざい自然探訪実施回数	回	目標値	—	—	5	5	5	
		実績値	—	—	6			
草深の森のPR(広報・HP等)	回	目標値	—	—	5	5	5	
		実績値	—	—	5			
成果指標	草深の森来場者数(年間)	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,845	1,707	1,713		
	いんざい自然探訪参加者数(延人数)	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33	80	107		
	別所・大森の森ゲンジボタル個体数	個体	目標値	—	—	215	220	225
			実績値	—	—	315		
	別所・大森の森ヘイケボタル個体数	個体	目標値	—	—	25	25	30
			実績値	—	—	—		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	一部指標で目標等を達成していないが、事業実績としては、一定の成果が見られるため、全体として現行の事業体系で推進していく。



令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画(令和5年3月)	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動</li> <li>有価物集団回収奨励金事業</li> <li>生ごみ処理容器等購入費補助金事業</li> <li>廃棄物減量等推進員制度</li> <li>いんざい環境フェスタ等イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動</li> <li>有価物集団回収奨励金事業</li> <li>生ごみ処理容器等購入費補助金事業</li> <li>廃棄物減量等推進員制度</li> <li>いんざい環境フェスタ等イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動</li> <li>有価物集団回収奨励金事業</li> <li>生ごみ処理容器等購入費補助金事業</li> <li>廃棄物減量等推進員制度</li> <li>いんざい環境フェスタ等イベント</li> </ul>
事業費	23,829千円	23,829千円	23,829千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-2-1	清掃総務費	ごみ減量化・再資源化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・リサイクル情報広場事業は17件の譲渡が成立した。 ・ごみ減量化等説明会は、町内会等に、2回延べ86人に説明会を行った。 ・廃食油約6.1トン、使用済み小型家電約10.3トンの拠点回収を行った。 ・生ごみ処理容器等購入の118世帯に補助金交付を行った。 ・剪定枝粉碎機貸出を14件行った。 ・有価物集団回収奨励金事業により、約1,281トンが回収できた。 ・廃棄物減量等推進員110人がごみ減量等に関する活動を行った。 ・ごみ分別アプリのダウンロード件数は、令和5年度までに、13,826件。 ・環境フェスタは天候不良のため中止 ・おさがりマルシェは、109人が来場し、衣類2580点、重さ約283kgを配布した。 ・ごみ分別に関するごみ減量・3R推進動画を作成し、ホームページ上で公開した。	当初予算	23,829,000円
		予算現額	23,564,000円
		決算額	18,548,192円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7	8	2		
				目標値				
				実績値				
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	461	455
			実績値	526	511	493		
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117	95	118		
	有価物集団回収奨励金交付団体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97	97	96		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	広報による啓発は毎月15日にシリーズ化して掲載することができた。ごみ減量化等説明会については、目標値を下回ったため、引き続き周知、啓発に努める。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ排出量は年々減少傾向にあったが、目標値は達成できなかった。生ごみ処理容器等購入費補助の件数は年間を通じた広報、啓発により目標値を上回った。有価物集団回収は未実施町内会への広報に努めたが目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値に達しない実績・成果となってしまった指標があるものの、概ね目標値を達成できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	現在、実施している事業を引き続き継続するとともに、事業に対する評価を踏まえ、さらなる充実にむけた検討を行う。

令和5年度分 実施計画事業評価票

事業番号 67

1. 事業の概要

実施計画事業名	環境への負荷の低減		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	ゼロカーボンシティの実現に向けて、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減に取り組んでいくため、定置用リチウムイオン蓄電システム等の省エネ設備の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、高度処理型合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の簡易水質検査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。			
関連施策	【4-7】自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市市内エコプラン 浄化槽法 印西地区循環型社会形成推進地域計画	
取組方針	環境への負荷の低減			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設の脱炭素化の検討 ・エコポイントの検討 ・ゼロカーボンシティ宣言の検討	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・グリーンカーテン推進事業 ・公共施設の脱炭素化の実施 ・エコポイントの実施 ・ゼロカーボンシティ宣言の実施	・合併処理浄化槽設置事業補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 ・グリーンカーテン事業実施 ・公共施設の脱炭素化の実施 ・エコポイントの実施
事業費	97,979千円	110,000千円	115,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-5	環境衛生費	合併処理浄化槽設置事業
	4-1-6	環境保全費	地球温暖化対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の事業実績・成果	・合併処理浄化槽設置補助 90基 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 47件 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 258件 ・グリーンカーテンでゼロカーボン事業 苗配布数811苗、種配布数100袋 ・2050年の脱炭素社会の実現に向けて、ゼロカーボンシティ宣言及びその取り組みを検討した。	当初予算	97,979,000円
		予算現額	97,980,000円
		決算額	93,286,657円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値	40	30	50	50	50
			実績値	50	48	47		
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値	70	70	70	70	90
			実績値	112	102	90		
	合併処理浄化槽設置及び維持管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値	5	5	5	5	—
			実績値	5	5	5	—	—
	太陽光設備設置基数	基	目標値	30	—	—	—	—
			実績値	55	—	—	—	—
	集合住宅用充電設備補助件数	回	目標値	—	—	2	3	4
			実績値	—	—	0		
	定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値	—	60	100	105	110
			実績値	—	160	138		
電気自動車等(EV・PHV)補助件数	件	目標値	—	—	15	18	20	
		実績値	—	—	17			
成果指標	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値	90	90	100	100	100
			実績値	96	96	100		
	CO2削減効果	t-CO2	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	170	—	—	—	—
	CO2削減効果(定置用リチウムイオン蓄電システム導入による)	t-CO2	目標値	—	—	76	80	84
			実績値	—	—	151		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	合併処理浄化槽補助金は、印西地区環境整備事業組合と印西市、白井市、栄町で策定した循環型社会形成推進地域計画や、市の実施計画とほぼ計画どおりの設置数であり、現行のまま継続する。住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、今後も国内外の動向を踏まえ継続していく。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、計画(いんざいカーボンニュートラルチャレンジ2050)を策定し、取り組みを図る。